

第3次沖縄県環境基本計画の概要

別紙1-1

計画について

○沖縄県環境基本条例第8条の規定に基づく、**沖縄県の環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る基本的な計画。**

[沿革]

- 平成15年4月 沖縄県環境基本計画 策定
- 平成25年3月 第2次沖縄県環境基本計画 策定
- 令和5年3月 第3次沖縄県環境基本計画 策定

計画の期間

令和5年度～令和14年度
(10年間)

新・沖縄21世紀ビジョン実施計画の見直し及び本県の環境及び社会経済の状況等の変化を踏まえ、必要に応じて本計画の見直しを行います。

計画の性格・役割

「沖縄21世紀ビジョン」及び「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を環境面から推進する計画として位置づけ。

計画の推進体制

- ・計画の各分野の施策や取組は、主要なものについては定量的な指標を設定し、毎年度その達成度を把握することにより、計画の進捗状況を点検する。
- ・進捗状況の点検は、PDCAサイクルの考え方にに基づき実施する。
- ・計画の進行管理は、庁内部局横断組織である「沖縄県環境基本計画推進会議」で行う。

計画の目標

沖縄県が目指す環境像

沖縄の豊かな自然の恵みを継承する、持続可能な循環共生社会

沖縄県が目指す環境像の実現

基本目標

自然共生
自然環境の保全・再生及び安全・安心な生活環境の実現

資源循環
島しょ型資源循環社会の構築

地球環境保全
地球環境保全への貢献

環境と経済
環境と調和する持続的な経済社会の構築

環境の継承
環境保全活動への参加及び環境教育による継承

他の基本目標の下支え

基本目標

地域間連携強化
地域を結ぶ環境に関わるネットワークづくり

科学技術活用
科学的知見の充実及び科学技術の活用

国際的な取り決め	第五次環境基本計画等	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画
SDGs ゴール14・15等、COP15(生物多様性条約)	「自然との共生を軸とした国土の多様性の維持」「良好な生活環境の保全」	「自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用」「持続可能な海洋共生社会の構築」
SDGs ゴール12等	「持続可能な形で資源を利用できる世界」「環境への負荷を環境容量内に抑制」	「社会生活における資源循環の推進」
SDGs ゴール7・13等、パリ協定、大阪ブルー・オーシャン・ビジョン	「2050年カーボンニュートラル」「マイクロプラスチックを含む海洋ごみ対策の推進」	「脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進」「持続可能な海洋共生社会の構築」
SDGs ゴール8等	「企業戦略における環境ビジネスの拡大」「環境配慮の主流化」	「世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成」等
SDGs ゴール4等、ESD	「各主体の積極的な参加」	「多様な主体による環境保全等に向けた活動の推進」

国際的な取り決め	第五次環境基本計画等	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画
SDGs ゴール17等	「地域循環共生圏の創造」	「離島と本島・県外との交流の促進」等
SDGs ゴール9等	「持続可能性を支える技術の開発・普及」	「自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用」「持続可能な海洋共生社会の構築」等